

まずは一度、お気軽にお出かけ賜り、月例会の様子を御覧下さいますよう。

十二月例会御案内

(平成二十年)

財団法人 協和協会

△会長

塩川 正十郎

○御案内

十二月十九日(金) 正午～二時半

参議院議員会館一階 第一会議室

(第五八四回)

講 題 民主党オバマ政権と、日本の対応!

講 師 柳井俊二先生(元外務省総合外交政策局長・外務審議官・外務事務次官・駐米大使)

アメリカ大統領選挙で、バラク・オバマ氏が圧勝し、アメリカで最初の黒人大統領が誕生する運びとなりました。大統領就任式は明年一月二十日ですが、すでに、その閣僚人選が始まっております。つまり、アメリカは、これまで八年間の共和党政権から、新春には、民主党政権へと切り替わるわけです。昔は、アメリカで政権が変わると地方の郵便局長まで変わるといわれたものですが、いまはそれほどではないにせよ、政府機関の幹部は総入れ替えとなるのが通例です。こうして、アメリカの政権が、共和党から民主党に変わると、日本に対するアメリカの政策はどうなるのでしょうか、日本は、どう対処すればよいのか、が問題となります。

そこで、今回は、この課題が最も判る方、すなわち、外務省事務次官のあと、平成十一年、民主党クリントン政権の時に駐米大使となり、引き続き共和党のブッシュ政権でも駐米大使を務められた柳井俊二先生に、御講話をお願いいたしました。貴重なお話、奮っての御参加を!

◎ 当日の会費 四千元(昼食の準備もあり、前日までに欠の御連絡をいただきます)(清原記)

□御報告

去る十一月二十八日の月例会は、「一〇〇年に一度」といわれる世界経済危機の折なので、この方面の専門家・益田安良先生(東洋大学経済学部国際経済学科教授・同大学院教授、各種政府委員)にお出でをいただき、御解説・御提言をいただきました。その概要を記しますと、

まず、その原因として、昨夏のサブプライムローン破綻が次第に深刻化し、本年九月のリーマンブラザーズ証券の破綻で、米・欧の銀行・証券・保険などが甚大な被害にあり、全世界に波及した。また、米国の「三つ子の赤字」(経常収支・財政収支・家計収支の赤字)も顕在化し、特に、不動産ローンの金融証券化やCDS(債権を直接移転せず、信用リスクのみを移転できる取引)といった新しい金融商品は、リスクの所在が不透明であるのに加え、格付け会社の甘い認識、また時価会計を採ったこと、などが原因である。これにより、基軸通貨ドル体制は揺らぎ、これからは無基軸通貨時代となるだろう。日本はこうした国際経済危機に対して、不良債権処理の体験を国際社会へ伝授する一方、今後も続く円高の中で、産業構造を再構築し、輸出を増やす努力をする必要がある、と説かれ、一同感銘し、大層勉強になりました。

▽ 当(財)協和協会は、「各界の志ある指導者・経験者が、党派・利害・打算を超えて、真に国家的見地から、我が国立国の基礎をなす諸課題を検討して、世の中に貢献しよう」との趣旨にて、昭和四十九年、岸信介元総理によって創設された財団。第二代会長は福田赳夫元総理。第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、そして、平成十五年十月七日、塩川正十郎元財務大臣が会長に就任しております。なお、平成十四年夏から、理事長に、半田晴久が就任しております。会員は、政・財・官・学・民各界の有志がバランスよく集まっています。国会議員・同秘書は随時参加自由。この月例講話会のほか、内部には、十五ほどの専門的な部会・委員会があり、これまでに、政府へ提出した意見書・要請書は、百二十五本に達しております。

事務局電話(03) 3581-1192 専務理事兼事務局長・清原淳平、重田、高津、古瀬

◎ 添付のハガキ、または、FAXにて、前日までに、頭記月例会への御返信をいただきます。

▼ 事務局FAX(03) 3507-8587

御芳名

貴方様のFAX番号

十二月十九日(金)

出 欠

(いずれかに○印——昼食弁当を用意するためにも)